
こっちを向いて

鈴夜 音猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

こつちを向いて

【Nコード】

N2659L

【作者名】

鈴夜 音猫

【あらすじ】

こんなにもあなたのことが好きなのに。あなたは気付いてくれないんだ

ちよっと切ない(?) 恋愛模様、第二弾！

ねえ、いつになったら気付いてくれる？

「…また？懲りないね」

あえての溜め息をつきながら、私は目の前のあなたを見る。

拗ねたように頬を膨らませるあなたのその右頬は真っ赤。

「何が悪いんだよ」

「女の子に告られて、曖昧な返事して、好きか聞かれたら、どうでもいって答えるところ」

氷を入れた袋の口を縛りながら、私はさらりと答えた。

そんな私に悪態をつくあなた。

「ほら、冷やしなよ」

タオルに包んだ袋を渡し、私は苦笑いを浮かべた。

顔は女の子並みに可愛いのに、女の子の気持ちを踏みにじる最低な男。

なのにどうしようもなくあなたを好きな私も、ある意味最低かもし

れない。

だって、あなたが彼女を作らないことを心の底では喜んでるから。

「もうしない方がいいよ。女の子が可哀想」

そう言う私の言葉に下心があること、あなたは分かってるのかな。

ねえ、いつになったら気付いてくれる？

あなたをこんなに好きな私に。

ねえ、こっちを向いて？

【End】

（後書き）

いかがでしたでしょうか？

第二弾と言いつつ、続くかは分からない物語…（え

とりあえず、これは男の子目線も考えています。

まあ書くかは別だけど

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。
また次回、お会いできますように…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2659/>

こっちを向いて

2010年10月14日21時13分発行